学生の確保の見通し等を記載した書類

－ 目次 －

１．入学定員設定の考え方及び定員を充足する見込み　・・・P.２
２．学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果　・・・P.３
３．養成する人材の社会的需要や人材需給の動向　・・・P.４

１．入学定員設定の考え方及び定員を充足する見込み

入学定員は平成 21 年度に 95 名から 103 名、平成 22 年度に 103 名から 107 名、令和 7 年度に 107 名から 108 名に増員し、以降 108 名で現在に至っている。収容定員は編入学生の定員と受入時期変更に伴い、令和 7 年度は 659 名であったが、学年進行により定員減が解消され令和 8 年度は 664 名となった。収容定員に対する在籍学生数は、次表（学生定員及び在学学生数）に示すように、過去 14 年間適正に管理されており、長期的かつ安定的に学生の確保を図ることができると考える。

学生定員及び在籍学生数

年度	入学定員	収容定員(A)	在籍学生総数(B)	編入学入学定員（内数）	B/A	在籍学生数					
						１学年次	２学年次	３学年次	４学年次	５学年次	６学年次
R8	108	664	690	4	1.03	110	115	121	116	116	112
R7	108	659	696	4	1.06	112	117	117	124	110	116
R6	107	659	698	4	1.06	112	113	127	115	113	118
R5	107	660	688	4	1.04	109	121	117	120	113	108
R4	107	661	689	4	1.04	112	117	119	120	106	115
R3	107	662	686	5	1.04	111	113	122	112	113	115
R2	107	662	684	5	1.03	111	113	117	115	112	116
H31/R1	107	662	692	5	1.05	110	115	118	113	115	121
H30	107	662	690	5	1.04	111	111	118	116	118	116
H29	107	662	686	5	1.04	108	110	122	118	112	116
H28	107	662	684	5	1.03	108	113	122	113	114	114
H27	107	662	681	5	1.03	111	114	117	118	110	111
H26	107	658	674	5	1.02	111	112	118	113	108	112
H25	107	646	659	5	1.02	111	110	117	108	108	105

１）地域の医師確保

愛知県との連携により、平成21年度から後期日程（第1段階選抜：大学入学共通テスト、調査書及び志願理由書、第2段階選抜：口頭試問）を実施し、令和5年度からは前期日程（第1段階選抜：大学入学共通テスト、第2段階選抜：個別学力検査、調査書、志願理由書及び面接）の特別枠として実施している。平成22年度には2名増員し5名としたが、募集人員については、次表に示すように、入学志願者数は十分に確保できており、入学者数についても安定していることから、今後もこれまでと同様に学生を確保することができると考える。さらに、入学者には愛知県からの修学資金を貸与することで、学生の負担を軽減できるよう配慮している。

平成25～令和8年度医学部医学科入学試験状況（令和4年度まで後期日程、令和5年度以降は前期日程）

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
募集人員	5名	5名	5名	5名	5名	5名	5名	5名	5名	5名	5名	5名	5名	5名
志願者	52	41	65	78	60	53	67	55	54	38	23	14	12	15
入学者	5	5	5	5	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5
志願倍率	10.4	8.2	13	15.6	12	10.6	13.4	11	10.8	7.6	4.6	2.8	2.4	3.0

２）研究医養成

平成 22 年度から令和 6 年度までの間、学校推薦型選抜（第 1 次選考：大学入学共通テスト、調査書、志願理由書及び推薦書、第 2 次選考：プレゼンテーション及び口頭試問）に研究医枠の 2 名を含む、12 名を募集人員としてきた。例年十分な倍率により入学者選抜が実施できており、研究医を希望する入学者を確保できていることから、令和 7 年度から 3 名の研究医枠を当該募集人員に割り当てている。

これまでの実績を次表に示すように、入学志願者数は十分確保（直近 5 年の志願倍率の平均は 2.4 倍）できており、入学者数についても安定して募集人員を満たしていることから、今後もこれまでと同様に毎年 12 名の研究医志望入学者を確保することができると考える。

平成 25～令和 8 年度医学部医学科入学試験状況（学校推薦型選抜）

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
募集人員	12名	12名	12名	12名	12名	12名	12名	12名	12名	12名	12名	12名	12名	12名
志願者	35	26	27	26	31	32	27	19	28	17	31	44	26	27
入学者	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
志願倍率	2.9	2.2	2.3	2.2	2.6	2.7	2.3	1.6	2.3	1.4	2.6	3.7	2.2	2.3

２．学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

学生募集にあたり、学部情報及び入試情報について、学生募集案内、学生募集要項及び学部案内の配布、ホームページの充実、オープンキャンパスの開催、企業、予備校等が企画する進学相談会への資料提供を行うなど、多くの受験希望者やその関係者に入学試験内容、本学部の特色や教育内容に関する情報を発信し、志願者確保に努めている。

また、本学高大接続研究センター主催の高校生向けセミナーへ出講し、地域枠制度及び魅力の説明、ポストコロナ時代の医療人材育成拠点形成事業における地域医療プログラムの紹介を行い、将来地域医療に、医師として貢献し得る学生の募集活動を行っており、研究医志望学生獲得のためには、医学部独自で推薦入学特設サイトを設け、どのように研究活動を行うかを丁寧に

説明するとともに、推薦入学者へのインタビュー、FAQを掲載し、本学部の魅力をアピールすることで、継続的な志願者確保に努めている。

【推薦入試特設サイト】https://www.med.nagoya-u.ac.jp/suisen/

３．養成する人材の社会的需要や人材需給の動向

今日の日本の医療は、ますます高度化するとともに、社会からの需要は多様化し量的にも増加している。必要な医療を適正に提供するためには、多様な医師の確保が必要不可欠な状況である。

愛知県の医師数は、増加の傾向にあるものの、厚生労働省による「医師・歯科医師・薬剤師調査」によると、令和 6 年時点で、愛知県の人口 10 万人あたりの医療施設従事医師数は、243.0 人と、全国平均 267.4 人と比較し、医師不足問題は解決されたとは言い難い状態が続いている。

また、年間 6 名程度（平均）の医学科卒の基礎系大学院進学者数を過去 10 年間維持し、進学時期も卒後早期に移行しつつあることや、附属病院における臨床研修で基礎医学研究医育成プログラムを選択する者が増加傾向にあるなど、研究医数の低下傾向に歯止めがかかる見込みをようやく立てることができる状況にあるものの、研究力を高めるためにはまだ十分とは言えない状況である。

このような医療を取り巻く状況に対応するため、名古屋大学医学部医学科では、愛知県との連携による寄附講座である地域医療教育学寄附講座を設置して、地域医療を担う指導的・中心的人材の育成の使命を果たし、地域医療に従事する明確な意思をもった学生を、一般枠とは区別した特別枠として受け入れ、人材の地域定着を図っている。

また、平成 20 年度入試から、推薦選抜に関し、「特に医学研究者への志向性を持ち、例えば本学の MD - PhD コースへの進学を希望するような人材」を出願資格・要件として求めていることを入学者選抜要項及び学生募集要項に明記して募集を行っている。平成 22 年度入試からは、学校推薦型入試を研究医養成のための特別コースとして設定し、計 12 名を研究医枠として募集し、育成している。